



●国内外での営業の経験が原点

大学は法学部ですが、六法全書はじめ法律の本を読むと眠くなる方だったので（笑）、法曹界への道は早々に諦めました。卒業してトヨタ自動車販売に就職したのは、先輩の導きと名古屋への興味からです。大阪は生まれ育ったところなので新鮮味がなかったし、東京は人が多すぎて働きたい場所ではなかった。それよりも未知の名古屋へ行ってみたいと思ったのです。

トヨタ自販に入ってからすぐに幾つかの重要な仕事を任されました。達成感を味わえますが、失敗すれば全て自己責任で叱られます。机の上であれこれ考える悠長な仕事はさせてもらえません。そういう環境で国内営業を21年。全国の販売店の方とお付き合いできて非常に楽しかったですね。それから商品企画を経験したあと米国で勤務。戻ってきたあとも海外へ向かう仕事を中心に、80カ国くらいは行っていると思います。

海外でいろんなビジネススタイルを学びました。例えば米国のオーナーは、一人で多様なフランチャイズを持っています。儲かるにはドンと投資しますが、儲からないにはあまり投資しない。手を引くこともあります。非常にドライです。航空業界も需要のないところでは飛ばさないの、その感覚はよくわかります。どの世界へ行ってもビジネスの基本は需要です。その大切さを肌身で感じてきました。例えばエアラインが新規就航したとしても、それはゴールではなくてスタートです。常に新しい需要を開拓し、安定運行に結び付ける努力を続けなければならず、そのためには地域と一体となった取り組みが必要です。

●逆風続きから回復基調へ

セントレアの社長に就任したのは2009年。リーマンショックの直後です。前任の社長から、「これ以上悪くなることはないから」と言われ引き継ぎを受けました（笑）。リーマンショックだけでなく、何も無いのが不思議というくらい次々とさまざまなことが起きました。新型インフルエンザの流行で人の集まる空港が敬遠され、JALの経営破たんでも路線が縮小されました。続いて東日本大震災、中国、韓国との外交問題。空港の経営にとって逆風が続きました。

しかし苦しさより使命感とやりがいの方が、ずっと大きかったですね。公的な役割や地域の期待が大きい仕事です。しかも自治体や経済界などが、旅客や貨物の利用が増えるよう力を合わせて支えてくださる。それに世界的に見てもアジアは

10周年は第2の開港



開港10周年式典のテープカット

航空需要の成長の中心となり、早晩米国のマーケットを追い越すでしょう。アジアと太いパイプを持つセントレアにとって、航空需要そのものは堅調に伸びているので、その需要を確実に獲得するための努力を続けることが大切です。確かに数字的なアップダウンはありましたが、トレンドとして回復基調にあるという実感はあります。

●リニア開通でメガ経済圏と世界を結ぶ空港へ

それらを踏まえセントレアは、量的にも質的にもさらに成長する必要があります。量的には、まずネットワークの充実です。近距離の韓国、中国、台湾、香港、それから東南アジア、さらに長距離路線のそれぞれについて国際拠点空港にふさわしいネットワークを張り巡らすこと。さらに需要、発着回数が増えたとき、キャパシティの面でも空港が対応できるようにしておく必要があります。第二滑走路の必要性について言えば、一本の滑走路では今、混雑時に非常にタイトな間隔で離着陸していますし、夜間の滑走路のメンテナンスや将来の大改修にも考慮する必要があります。第二滑走路については、今後も地域と一体になって取り組んでいきます。

質的には空港としての受け入れ態勢の充実です。例えば、伸びているインバウンド（訪日外国人客）面では、お客様への案内機能、手ぶらでストレスなく観光していただけるようなサービス、個人旅行しやすいアクセスの充実などです。イスラム教徒の方には礼拝室を用意し、戒律に対応した食事メニューも提供しています。

それから経営体質をさらに強化すること。そのためには商業施設など非航空系の売り上げを確保する必要があります。セントレアの売り上げは45%が非航空系です。イベントや物産展などでさらに楽しんでいただける空港にし、そこで上げた利益をエアラインの誘致や施設の充実のための投資に振り向けます。

2027年には、東京と名古屋を最速40分で結ぶリニア中央新幹線が開通し、東京圏と名古屋圏が一体となった新しいメガ経済圏が形成されます。セントレアは成田、羽田と並び、メガ経済圏と世界を結ぶ重要なゲートウェイとしての役割が増していくこととなります。今年迎えた10周年は、それをめざす第2の開港と考えています。



Person logo

中部国際空港 社長
川上 博さん

かわかみ ひろし / 1949年、大阪府生まれ。京都大学法学部を卒業し、トヨタ自動車販売（現トヨタ自動車）入社。トヨタ自動車米州本部営業部長、トヨタ自動車専務、豊田通商副社長等を経て2009年、中部国際空港社長に就任。